

2024年度（令和6年度） 芦屋市障がい者基幹相談支援センター事業報告

資料1

重点課題	事業計画		実施計画	実施内容	成果と課題
1) 専門的な相談支援	委託相談支援(3障がい)	継続	・ケース対応 ・対応件数の集約とケースの共有、地域の課題を抽出・整理。	・課題複合ケース 85件 延べ相談対応回数 2,112件(R7年2月末現在) ・虐待ケース 18件 延べ相談対応回数 419件(R7年2月末現在)	・全ケースレビューを実施し、基幹相談員間でのケース共有と相互で別の視点での助言が came。 ・担当ケースや後方支援において、不登校の相談が増加している。
	基幹相談支援センターの機能強化	充実	・基幹相談支援センター運営のための研修参加	・基幹相談支援センターの現状分析を木下先生にSVいただき実施(4回) ・他市基幹相談支援センターへの視察(3力所)	・木下先生に継続的にSVをいただき、基幹相談支援センターを取りまく環境要因を分析し、課題整理を行った。 ・また、他市基幹相談支援センターへ視察に行くことで、他市との違いや他市の工夫を知り、今後の基幹相談支援センターの事業計画づくりに生かしている。
	サービス等利用計画作成への助言	継続	・芦屋版計画相談マニュアルの作成	・市内計画相談員参加のマニュアルPT会議を実施(3回)	・R6年度に改定があった加算について表を作成 ・芦屋市独自のルールを集約。
2) 地域の相談支援体制の強化の取組	相談支援事業者への指導・助言	継続	・一般相談員、計画相談員への助言 ・一般相談ミーティング、クローバー会議への出席	・随時 対応ケースへの助言、同行訪問等を実施 ・一般相談ミーティングへの会議参加(月1回) ・クローバーとの支援調整会議への参加(年4回)	・一般相談(相談支援事業)やクローバーとの会議では、ケース検討を行い、支援方法の検討を行うとともに情報共有に努めた。 ・必要に応じて、面談・訪問に同伴・同行した。
	相談支援事業者への人材育成の支援	継続	・事例検討会の実施(主任相談支援専門員と協働) ・市内相談員向け研修、基幹相談員向け研修の実施	・事例検討会(精神科医・主任・外部講師:年6回) ・保健センターとの連携勉強会 ・地域福祉研修 ・連携、協働、チームワーク強化研修(市内全事業所対象)	・事例検討会では、例年実施している精神科医、主任によるもの以外に、強度行動障害の事例検討会では、外部専門家を迎えて実施した。 ・相談員だけでなく、市内事業所・行政関係者を対象とした「連携、協働、チームワーク強化研修」では、61人の参加があった。
		継続	・相談支援連絡会の実施(市内相談員対象)	・相談支援連絡会の実施(4回) ・市内新規相談支援事業所や市外相談支援事業所にも参加いただいた。	・芦屋市民への支援を行っている相談員において、「不登校」「教育と福祉の連携」などの情報や取り組み方法を共有。課題を通して研修の企画にもつながった。
	地域の相談機関等との連携強化	継続	・民生児童委員への普及・啓発 ・地区福祉委員会への普及・啓発	・福祉を高める運動 ・民生児童委員対象に「つむぐ広場」の説明と協力依頼、障がい理解研修を実施。	・「福祉を高める運動」を通じて、相談員が地域とのつながれる機会となれた。 ・民生児童委員が「つむぐ広場」に定期的に協力いただけることとなった。
		継続	・市内及び近隣、関係機関、学校への普及・啓発・連携 ※地域イベントで疑似体験ブースを出展	・「知的障がい、発達障がい疑似体験研修」を学校を中心に実施 ・市内小学校、中学校にて実施 ・福祉フェアにおいて疑似体験ブースを実施	・今年度初めて小学校(4年生)より福祉学習の一環として依頼を受けて実施。 ・今年度は中学生にも実施し、それぞれの年齢に合わせた内容を検討してアレンジした。 ・昨年度より「パレットさん」がおむすび隊に加わったことでワーク内容に幅が広がっている。
		充実	・個別避難計画等災害に向けた取り組み検討	・災害時個別避難計画作成のモデル事業に参画 ・阪神・淡路大震災30年特別番組制作プロジェクトに参画	・過去災害時個別避難計画を作成された事例をもとに阪神・淡路大震災30年PT取材やまるっと説明会での防災講演会で説明し、個別避難計画の周知を行ったとともに、今年度より実施しているモデル事業にも参画した。
		継続	・多機関協働支援会議(重層)や地域まちづくり委員会など関係部署主催会議への参加	・芦屋市多機関協働推進委員会 ・芦屋市生活困窮者自立支援専門部会 ・芦屋市福祉のまちづくり委員会 ・権利擁護支援システム推進委員会	・地域づくり、社会参加に重点を置く、重層的支援体制づくりに参画。 ・生活困窮者自立支援専門部会では、居場所PTに参画し、R6年度には多様な分野と協働し居場所モデル事業を実施。
		継続	・事務局(障がい福祉課)の運営への協力 ・実務者会の開催及び運営 ・専門部会の開催及び運営	・自立支援協議会本会議(3回) ・自立支援協議会実務者会(11回) ・自立支援協議会専門部会(10回)	別添 報告のとおり
	地域生活を支える体制整備に係るコーディネート(自立支援協議会の運営・活動)	充実	・障がい福祉ポータルサイト「あしやねっと♪」の運営と周知	・「あしやねっと♪」の内容をリニューアル	・特に「相談先」コーナーを大幅に変更。 ・専門部会で作成した「らいふ&すまいる」の詳細情報の飛び先として活用。
		継続	・市内事業所説明会の開催(まるっと説明会)	・令和7年2月15日(土)芦屋市役所東館3階にて開催	別添 報告のとおり
		継続	・芦屋市障がい児・者作品展の開催への協力	・福祉センターや木口記念会館にて開催(12/4～12/10) ・12/5、授産品販売会を実施(7事業所出展)	・作品数168点、作者数21団体・264人、感想文190通。 ・昨年に引き続いて実施した授産品販売会では、初めて実演販売を実施。
3) 地域移行・地域定着	地域移行・地域定着の促進の取組	継続	・施設・病院等への地域移行に向けた普及啓発	・近隣病院に訪問	・昨年に引き続き神戸市の精神科病院において、芦屋市民の入院患者を対象に、芦屋市の社会資源情報やグループホームの一日動画を紹介。
		継続	・地域における地域移行・地域定着に向けた基盤づくり	・実務者会(2回)	・健康福祉事務所、障がい福祉課、基幹相談にて定期的に実務者会を設け、病院へのアプローチ方法について検討した。
		継続	・ケース対応	・地域移行・定着支援 支援:1件	・入院中の方だけでなく、入所中の方の地域移行個別支援を実施。 ・入院、入所施設からグループホームへの移行の場合は、地域移行事業を利用せずに進めていることもある。
4) 権利擁護・虐待防止	障がい者虐待防止の取組	継続	・ケース対応、夜間・休日の対応	・虐待通報受理18件(昨年同時期15件)、そのうち虐待認定4件(昨年同時期1件) ・前年度からの対応継続件数は5件	・例年通り警察からの通報が多いが、虐待防止研修の影響か相談員からの通報も増えてきている。
		充実	・虐待ケースモニタリング ①ケース共有と対応進捗管理 ②システム改善や地域資源開発等の検討 ③虐待ケースの具体的支援方策を検討	・モニタリング会議開催(3回) ・分析する縦レビュー会議を高齢分野と合同開催 ・介入困難時の支援チェックシート作成プロジェクトを結成 ・次年度に向けて、分野横断で研修体系化プロジェクトを結成	・行政、権利擁護支援センターと協働でケースの支援経過共有とともに、ケース全体から出てくる傾向や課題を分析し、課題解決に向けてプロジェクトを結成し取り組んだ。 ・今年度は、「介入困難時における支援チェックシート(仮)」をプロジェクトにて作成した。
		継続	・障がい者虐待防止のための研修会開催(年1回) (施設従事者虐待の防止のための研修) (権利擁護支援センター、自立支援協議会と協働で実施)	・障がい福祉サービス従事者向け虐待防止研修(1回) ・内容:虐待を作り出す環境・人的要因とその対処方法について ・対象:芦屋市内障がい福祉サービス等従事者	・障がい福祉サービス従事者等40人が参加。 ・虐待防止と虐待を作り出す環境・人的要因とその対処方法について学び、虐待につながらない適正な支援ができることを目的に実施。